

## 大船渡市 I L C 推進協議会設立総会 議事録

### 1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和元年 5 月 9 日 (木) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 10 分
- (2) 場所 大船渡市民文化会館 (リアスホール) マルチスペース

### 2 会員数 31 名

### 3 出席者

#### (1) 会員 26 名

岩手県飲食業生活衛生同業組合大船渡支部 副支部長 志田繕隆  
(一社)岩手県建設業協会大船渡支部 支部長 紀室裕哉  
(一社)岩手県建築士会気仙支部 幹事長 鈴木昭司  
(公社)岩手県トラック協会大船渡支部 支部長 新沼学  
岩手県美容業生活衛生同業組合大船渡支部 今野陽子  
岩手県立大船渡高等学校 校長 吉田祥  
岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合大船渡支部 支部長 今野廣己  
大船渡金融団 当番幹事 (株)東北銀行大船渡支店長 高橋寛行  
大船渡港物流強化促進協議会 太平洋セメント(株)大船渡工場長 服部誠  
大船渡国際港湾ターミナル協同組合 専務理事 細川廣行  
大船渡五葉ライオンズクラブ 会長 田代喜三  
大船渡市各種女性団体連絡協議会 会長 及川のぶ子  
(一社)大船渡市観光物産協会 副会長 水野公正  
大船渡市議会 議長 熊谷昭浩  
大船渡市社会福祉協議会 常務理事 金野敏夫  
大船渡市小・中学校長会 会長 長澤敏之  
大船渡市農業協同組合 代表理事専務 新沼賢太郎  
大船渡商工会議所 会頭 齊藤俊明  
大船渡市老人クラブ連合会 会長 胡口昭二郎  
(一社)大船渡青年会議所 理事長 猪股博光  
大船渡ライオンズクラブ 会長 崎山陽一  
大船渡ロータリークラブ 会長 鈴木敏彦  
気仙地方森林組合 代表理事組合長 爪木澤光毅  
岩手県沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター 所長 米澤勉 (※オブザーバー)  
大船渡市 市長 戸田公明  
大船渡市教育委員会 生涯学習課長 熊谷善男

#### (2) 来賓 1 名

岩手県国際リニアコライダー推進協議会 理事 廣田淳

#### (3) 事務局 6 名

I L C 推進室長 新沼徹 I L C 推進室次長 伊藤喜久雄 商工港湾部長 鈴木昭浩  
企業立地港湾課長 武田英和 都市整備部長 西山春仁 建設課長 阿部博基

#### 4 議事の経過

午後1時30分にI L C推進室長の進行で開会した。

はじめに、本協議会設立の発起人として市長から「3月7日に、日本政府から『国際リニアコライダー・I L C計画に関心を持って国際的な意見交換を継続する』との前向きな見解が示された。日本政府が、I L C計画に正式に関心を示したことは初めてのことであり、実現に向けた大きな一歩であると捉えている。また、今回の政府見解においては、I L Cの学術的な意義とともに、I L Cがもたらす立地地域への波及効果の可能性についても言及されており、これまでの東北地方、岩手県を挙げての熱心な誘致活動の成果が表れた内容となっている。現在、I L C計画に関しては、政府からの関心表明を受け、国内外の関係機関等において活発な議論が進められているが、我が国はもとより、I L C計画に大きな影響力を有するヨーロッパやアメリカの動向を勘案すると、本年、とりわけ秋頃までが正念場と考えられる等、誘致・実現に向けて大詰めの局面を迎えている。このような中、政府の誘致判断を強力に後押しするためには、これまでの成果を踏まえつつ、より一層の機運の盛り上がりを図ること、受け入れ準備を適切に整えること等が必要となる。このような観点から、市内の幅広い分野の関係者によるI L Cの誘致・実現に向けた推進組織として、『大船渡市I L C推進協議会』を設立すべく、本日、皆様にお集まりいただいた。I L Cを誘致・実現するためには、皆様の力添えが重要であり、今後においても、ご支援、ご協力をお願いしたい。」とあいさつがあった。

続いて、来賓である岩手県国際リニアコライダー推進協議会 廣田理事から「本日の大船渡市I L C推進協議会の設立を心よりお祝い申し上げる。大船渡市では、気仙地域、官民が一緒になり、6年ほど前からI L Cの誘致に向け、要望活動や講演活動、様々な周知・普及活動を展開しているところだが、本日はそれを形にするため本協議会が設立されるということで、心強い動きと感じている。岩手県国際リニアコライダー推進協議会は、平成24年4月に設立した。現在619の団体・個人の会員がおり、要望活動、講演、視察、経済波及効果の調査・研究と、この7年間、様々な活動を展開してきたところである。I L Cに関しては、本年が正念場である。3月7日の日本政府のE O I（関心表明）を一步前進と捉えており、本年秋、あるいは来年2月、5月の節目までに、国内外の大きな動きが期待されるということで、大詰めに迎えている状況にある。大船渡市の活性化のために、岩手県、岩手県国際リニアコライダー推進協議会、貴協議会が協力していければと思っている。」と祝辞をいただいた。

次に議事に入った。議事の進行は、大船渡市I L C推進協議会規約(案)第6条第1項により会長が会議の議長となっているが、協議会設立前でまだ会長が選出されていないことから、仮議長を事務局から選出することで事務局が各会員に諮ったところ、会員からは異議なく承認され、事務局案により戸田大船渡市長が仮議長として選出された。

ここからは、戸田大船渡市長が仮議長となり進行した。

##### ○議案第1号 大船渡市I L C推進協議会の設立について

仮議長が事務局に議案第1号の説明を求めた。

事務局のI L C推進室次長が、総会資料に基づき議案第1号について説明した。

事務局説明後、仮議長が各会員に質疑等を求めたところ、質疑等なく、議案第1号は承認された。

##### ○議案第2号 大船渡市I L C推進協議会規約(案)について

仮議長が事務局に議案第2号の説明を求めた。

事務局のILC推進室次長が、総会資料に基づき議案第2号について説明した。

事務局説明後、仮議長が各会員に質疑等を求めたところ、質疑等なく、議案第2号は承認された。

#### ○議案第3号 役員の選出について

仮議長が事務局に議案第3号の説明を求めた。

事務局のILC推進室次長から、大船渡市ILC推進協議会規約第4条第4項により協議会の会長1名及び副会長2名を総会において選出するとの説明の後、仮議長が選出方法について各会員に諮ったところ、会員から事務局案を示すよう提案された。

ILC推進室次長から事務局案として、会長には戸田大船渡市長、副会長には熊谷大船渡市議会議長及び齊藤大船渡商工会議所会頭をお願いしたいと提案し、事務局案について仮議長が各会員に諮ったところ、会員からは異議がなく承認された。

その後、役員に選出された3名からあいさつがあった。

戸田会長から「岩手県国際リニアコライダー推進協議会、東北ILC推進協議会、さらには出席いただいた方々を含む関係者の方々とともに一生懸命協働し、ILC誘致実現に向けてがんばっていきたくと思うので、ご支援、ご協力をお願いしたい。現在、本市では、ILCを生かしたまちづくりとして取組を進めている。大きな取組としては、『ILCと共生するまちづくりビジョン』を昨年策定した。このビジョンに基づき、ILCアクションプランとして、5項目のプランを策定することとしている。その内の1つである『港湾・物流・道路』分野については、ビジョンと併せて策定したところである。その他の『産業』『観光・交流』『生活・居住・滞在』『医療・教育・社会』の分野については、今後順次策定する。日本政府の誘致決定の暁には、大船渡市ではこれほどの準備があることを広く、強くアピールしたい。そして、皆様とともに、大船渡市の活性化に努めて参るのでよろしくをお願いしたい。」とあいさつがあった。

続いて、熊谷副会長から「これまで本市議会も『大船渡市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟』を立ち上げ、また、気仙地域としても、気仙2市1町の議員49名全員が加入して『気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟』を設立し、関係団体とともに誘致実現に向けて一生懸命取り組んできたところである。3月7日の政府表明を受けてスタートラインに立てたと思っており、今回の協議会設立は意義深いものである。国へ陳情・要望に行くと、巨額の予算を投資するには国民的な理解が必要との話をいただくが、当協議会を通じて、大船渡市から機運を盛り上げながら、国民に響く運動・取組を行って参りたいと思うので、皆様のご協力をお願いしたい。」とあいさつがあった。

続いて、齊藤副会長から「ILCは、大船渡市はもとより、岩手県、東北の大きな希望の星である。人口減少社会の中にあって、ILC実現により持続可能なまちづくりが十分できるものと思っている。そのような意味では、1日でも早く誘致が実現されるよう、皆様の協力を得て副会長として全力で取り組みたいと考えている。産業経済振興のみならず、学術、文化、教育、そしてあらゆる分野に大きな効果をもたらすものと信じている。皆様の協力を得て、強力な組織として、1日でも早く誘致実現するようがんばって参るのでよろしくをお願いしたい。」とあいさつがあった。

ここからは、大船渡市ILC推進協議会規約第6条第1項の規定により、戸田会長が議長となり進行した。

○議案第4号 令和元年度事業計画（案）について

議長が事務局に議案第4号の説明を求めた。

事務局のILC推進室次長が、総会資料に基づき議案第4号について説明した。

事務局説明後、議長が各会員に質疑等を求めたところ、質疑等なく、議案第4号は承認された。

すべての議事が終了し、進行が会長から事務局に返された。

事務局から次第「5 その他」について、会員に発言を求めた。

(岩手県建築士会気仙支部：鈴木幹事長)

昨年、市民文化会館でILCセミナーが開催された際に、本日も配布されているパンフレットをいただき、開いて中を見ると気仙地域、一関市大東地域に特別な記載が何もない。県北等には、観光地や名勝が様々掲載されているが、ILCの建設候補地付近はまったくそのようなアピールがないので、改善してほしいと作成者である岩手県に依頼したところであるが、改善されていないようである。

今後、建設候補地にもう少し光を当てていただくようお願いしたい。

(事務局：市ILC推進室長)

この件については、岩手県だけでなく、当市にも責任、原因がある。今後、県、市、関係機関が一体となって、全県あるいはオール東北のスタンスで取り組まなければならないので、このようなパンフレットについても新しいものが必要になってくると考えるので、県を中心に一体となって、建設候補地あるいはその周辺の自治体が活用できるような資料を作成するよう心がけたい。

午後2時10分に総会を閉会した。

以上